
自己主張

嘩月 - ka「d/z」uki -

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
自己主張

【コード】
N0260M

【作者名】
嘩月・k a r d / z r u k i

【あらすじ】
.....

私は普通の人。

少し静かなぐらい。

それでも降る暴威の雨。

「ひどく体が痛ム」。

私は取り柄が無い。

だから隅っこに座る。

邪魔しないからほって置いて。

「ひどく心が病ム」。

気付いたら蚊帳の中。

体中に深く刺されていく。

紅く腹を膨らませる。

満足そうに私を啜る。

生温い風、春を報せ、纏わり付く。

私にとってはどうでもいい。

変わるため、手を広げて、飛び立とう。

疾走でしょ……？

普通過ぎたから。

きつとそんな理由。

ならば変わり果ててやる。

「幻想に巻かれ痛ム」。

一時的な変化。

何も恐くなんかない。
依存していく虚弱脳。
「幻想を喰し病ム」。

嗚呼、耳鳴りがする。
浮世離れな影が迫る。
苦しい、狂しいから。
早く。。。

「失踪中」。

気付いたら蚊帳の中。
体中に深く刺されていく。
紅く腹を膨らませる。
満足そうに私を啜る。

傷ついたら、羽ばたいて、美しくなれるでしょ。
私は痛みを背負った神。
足は踊り、手はひらひら、その場で廻ってる。
綺麗でしょ……？

雨の降らない雲の上。
神に与えられた私だけの居場所。
血を吸う蚊はもういない。
けれど影が迫るの。
それでも私、神だから。
誰も彼も近付けない。

飛ぶ私は、綺麗でしょ……？

妄想でしょ……。。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0260m/>

自己主張

2010年10月10日08時09分発行